

令和6年度
学校評価報告書



都城市立山之口中学校

令和6年度 都城市立山之口中学校 学校評価（自己評価）

4 そう思う 3 どちらかと言えばそう思う 2 どちらかと言えばそう思わない 1 そう思わない

		評価項目	評価(平均)
確かな学力の育成	1	生徒が授業の内容を理解しやすいように授業の改善・工夫に努めている。	3.2
	2	(教科担任者として) 生徒の80%は「おおむね満足できる」学力を身に付けています。	2.6
	3	家庭学習へのアドバイスをしたり、宿題の見届けを行ったりしている。	3.1
	4	生徒は、よく読書をしている。	2.1
	5	キャリア教育をとおして、生徒は自分の将来について考えている。	2.8
心の教育の充実	6	生徒は、自分から進んであいさつしている。	2.8
	7	生徒は、生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。	3.0
	8	生徒は、清掃や美化活動等の奉仕活動にすすんで取り組んでいる。	2.8
	9	生徒は、思いやりや温かな人間関係を大切にする心が育っている。	2.6
	10	生徒は、ルールやマナー(服装、身なり、時間など)を守って学校生活を送っている。	2.7
	11	道徳の時間に、生徒は自分を見つめ、振り返ることができている。	2.9
	12	生徒の相談に応じたり、生徒とのラポートづくりに努めている。	3.2
健体力の全向上	13	給食指導等において、食の大切さを意識させている。	2.9
	14	生徒は、部活動に真剣に取り組んでいる。	3.1
	15	生徒に、交通ルールやマナーの意識を高める指導をしている。	3.2
	16	避難訓練等で、生徒の防災意識が高まっている。また、危険箇所を放置せずに対策を講じている。	3.0
家庭との連携	17	総合的な学習の時間等において、生徒と地域との関わりを持たせることができている。	3.1
	18	教育活動や生徒の様子に関する情報を積極的に発信している。	3.0
	19	生徒の状況について、保護者との連携がよくとれている。	2.8

① 確かな学力の育成

重点努力事項	具体的な取組	学校の自己評価結果コメント	学校運営協議会委員の評価コメント
基礎的・基本的な学習内容の定着を図るための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1・2学年を対象に、「学力向上テスト」を実施した。朝自習の時間に取り組んだ学習内容から出題し、繰り返し学習による基礎・基本の定着を図った。 ○ 学習規律の徹底を図るために、生徒会組織の学習委員会の取組と連動させながら「①学習用具をそろえ、課題を確實にする②始業のチャイムで黙想・立腰する③指名されたら大きな声で返事する④姿勢を正して集中して聞く⑤積極的に発表する」について指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期テストの内容と関連付けて作問することで、学習内容の定着や学習意欲の向上につながった。また、「やればできる」という達成感も味わわせることができた。 ○ 学習規律の徹底については、小中連携で継続して取り組んでいる。「生徒が安心して学べる教室」「教師が授業を効率的に進めることのできる教室」めざし、生徒の確かな学力を育んでいくよう、引き続き指導の徹底に努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 何年か前から行われている【始業のチャイムで黙想・立腰からのスタート】により、オンラインとオフの意識の切り替えがしっかりと行われ、スムーズに目の前の授業に集中できていると思う。 ○ 学力向上に向け、各学年、先生方、生徒共によく頑張って取り組んでいる。 ○ 生徒が授業を楽しんでいる様に感じられ、全体的に落ち着いているように思える。 ○ 落ち着いた態度で授業に取り組んでいるので安心だ。 ○ 基本的なことを繰り返し学習することにより理解度を向上してもらいたい。 ○ 具体的な取組が、アンケート「授業を真剣に受けている」の評価の高さに表れている。 ○ 達成感を味わったことは、今後にも活かされていくだろう。
学習指導方法の工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学びの個別最適化をめざし、タブレットを教具ではなく「文具」と捉え活用されることで、一人ひとりの生徒に合った方法やペースで学習に取り組めるようにした。また、デジタルコンテンツを活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習を目的とするならば、いつでもどこでも使用できる文具の1つ」としてタブレットを学校や家庭で利用させているが、使用的ルールが守られない場面が多々あった。教師の意図を越え、生徒の方が上手に使い、遊び道具としての使い方を見つけている現状もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICTを利用しての授業は、生徒の理解や知識の向上に役立ち、一人一人の状況を把握できるのは良いことだと思う。ただ、紙媒体をじっくり読み込むのも理解力や表現力の向上には大切だと思う。 ○ 紙ベースでの授業割合を少なくし、タブレットを使用していく流れとなっているが、スマートフォンの急激な普及により、教師より生徒の使用技術が高いのは最初から解かっていた。今後もタブレットを使用していく事は生徒の学力に対しての意識レベルの格差が大きくなっていくと思う。生徒は、スマートフォンの延長線上にタブレットがある意識が汚いと思うので、意識改革が必要だと思う。 ○ タブレットの使い方は、教師の習熟とも大きく関連していると思う。これから社会では避けて通れないことで、今が過渡期にあると思う。 ○ タブレットの利用は、自由研究・知識を広めることに活用できればよいと思う。 ○ タブレット学習の時代なので、ルールを守って活用してもらいたい。 ○ 読書力などの力を付けるために、本を手に取って読むことも大切だ。 ○ タブレットの使用が多くなるとデメリットも出てくる。規制をかけることもひとつ的方法だと思う。 ○ ルールを守ることは大切なことだ。
家庭学習の充実を図るための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教科から曜日指定の課題プリントや週末課題のプリントを配付し、意図的に家庭学習の機会をつくるようにした。 ○ 3学年を対象に、放課後学習会を実施し、家庭での学習がうまく進まない生徒に対し、課題や提出物に取り組む支援を行い、学習習慣の定着をめざした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予習や復習のプリントを定期的かつタイムリーに課すことで、「わかった・できた」の達成感につなげることができた。未提出者の見届けも各教科で確實に行うよう努めた。 ○ 平時は参加する生徒が固定化されているが、テスト前になるとこれまで参加のなかつた生徒も参加し、学習への意欲向上が見られた。また、分からぬことをそのままにせず、質問をして理解しようとする姿勢も見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誰一人取り残さない教育のためには、放課後学習は大変効果的だと思われる。教育格差を生じさせないためにも良いことだと思う。働き方改革の流れの中、先生方の負担にも十分考慮して取り組んでほしい。 ○ 放課後学習会が長年続いているので、少しでも学習への意欲が出ると良い。 ○ 家庭学習は、生徒が予習・復習をすることにより、明日の授業の理解度が高まることを生徒に自覚させてもらいたい。 ○ 家庭環境の安定も望まれる。
読書指導の充実を図るための取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月、新聞読書の日を設定し、定期的に活字に慣れ親しめるようにした。 ○ 図書委員会の活動の活性化を図り、来室者や貸出冊数を増やすためにさまざまなイベントを企画・運営した。また、図書館サポーターの支援により、季節に応じた掲示物や本の紹介コーナー等を充実させ、本への興味・関心を高める環境づくりに取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初めは新聞自体に抵抗感を示す生徒が多かったが、回を重ねるごとに、真剣に読み進める姿が多く見られるようになった。 ○ 多読者・多読学級を表彰や、図書館祭りを2回開催できた。今年度より学級文庫を設置したことでの生徒の読書習慣の確立と促進を図ることができた。また、図書館サポーターのおかげで、季節や学校行事に合わせて様変わりする図書室に、来室する生徒数が増え、生徒たちは読書の楽しさや楽しみ方を知ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書の充実を図るために様々な取組をしていて素晴らしいと思う。アンケートの自己評価が低く感じたので、これからも読書の素晴らしさを伝える活動に取り組んでほしい。 ○ 読解力を身に付けることは全ての学習の基本となる。一層の指導努力を行ってほしい。 ○ 図書室に行って本を手にして読むことは簡単なようで難しい。委員会をはじめ図書館サポーターと環境づくりを引き続きがんばってもらいたい。 ○ スマホやタブレットの使用で本を手にすることが減っている。時にはじっくりと読み返してみる面白さを感じてほしい。 ○ 学級で感想を述べ合う時間など取れたらよいと思う。 ○ 新聞記事の感想を書くのは良いアイデアだと思う。 ○ 短い時間でもよいで、興味ある本を読み、読書の習慣付けをしてもらいたい。 ○ 文字を読む、活字を読み込む力を付けるのは今しかないとと思う。 ○ いろいろな環境作りがされているのに、アンケートの評価が低くなっている。
【課題と改善策】			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力の向上に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の場にふさわしい環境を整え、学習指導を効率よく進めるためにも、今後も全職員・全生徒で学習規律の徹底に取り組み、安心して学ぶことの教室づくりをめざす。 ○ タブレットの効果的な活用に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師側の操作スキルやトラブル対応力等、常時アップデートが必要である。 ・ 情報の信頼性を判断する力や適切なコミュニケーションマナーなど、生徒自身にデジタルリテラシーを身に付けさせ、タブレットを安全かつ有効に利用できるよう指導していく。 			

令和6年度 都城市立山之口中学校 学校運営協議会委員評価報告書

② 心の教育の充実

重点努力事項	具体的な取組	学校の自己評価結果コメント	学校運営協議会委員の評価コメント
挨拶運動と生徒会活動の充実を図るための取組	<input type="radio"/> 小中合同のあいさつ運動の実施 <input type="radio"/> 花配り活動と年賀状作成 <input type="radio"/> 校則の改訂 <input type="radio"/> 募金活動	<input type="radio"/> 年2回の小・中合同のあいさつ運動を実施した。 <input type="radio"/> 地域貢献活動の一環として地域の一人暮らしの高齢者に花を届け、年末には年賀状を送った。喜んでいただき、年賀状のお礼が届いた。今年度は小学校や支所にも花を届けた。 <input type="radio"/> 今年度も昨年度に引き続き、生徒会を中心に校則の見直しを行った。保護者へもプリント配付やメールを使って周知した。また、本校ホームページにも掲載した。 <input type="radio"/> 生徒会が自主的に計画し、歳末助け合い運動の募金活動を行った。	<input type="radio"/> あいさつ運動に参加して、生徒たち一人一人がよくあいさつができた。 <input type="radio"/> あいさつ運動の取組、参加に感謝している。山之口中学校の素晴らしい行事なので、是非、今後も継続してほしい。 <input type="radio"/> 笑顔で元気よくあいさつをしてもらっている。 <input type="radio"/> 校内でのあいさつはよくできていると思うが、校外では不審者等のニュースもあって難しいところもあると思う。 <input type="radio"/> 花配り活動に高齢者の方が感謝していた。 <input type="radio"/> 花配り活動は大変だろうが、長年続いている活動なので、待っている方のために継続してほしい。 <input type="radio"/> 高齢者は若い人との会話も楽しみにしているので、花を通して会話の交流もできるようになってほしい。 <input type="radio"/> 高齢者の方々は楽しみにしているので、いろいろ大変だろうが、継続してほしい。 <input type="radio"/> 時代の流れに即し、生徒目線の校則改訂ができていた。
環境美化の充実を図るための取組	<input type="radio"/> 環境委員会を中心に、環境美化に努めた。 <input type="radio"/> 生徒会による朝ボラを実施した。 <input type="radio"/> 無言清掃の実施。	<input type="radio"/> 毎週水曜日を環境美化の日として、昼休みに校内の環境整備を行った。 <input type="radio"/> 生徒会の提案により、毎週木曜・金曜の朝、校門でのあいさつ運動と校内美化活動を行った。生徒会以外の生徒にもその輪を広げていきたい。 <input type="radio"/> 清掃開始時の黙想、無言清掃、終了時の黙想を徹底しているが、完全にできているとは言えない状況である。継続的に指導していかたい。	<input type="radio"/> 生徒数減少で清掃活動も大変だと思うが、意識を持たせるために、美化活動やあいさつ運動、無言清掃などは大事な活動だと思う。 <input type="radio"/> 生徒や保護者が減少する中で全ての環境を守るのは難しいと思う。地域に声をかけ、地域で学校を守って行く取組も必要だ。 <input type="radio"/> 無言の清掃の方が仕事は捗ると思うが、多少の会話があつても（多少が難しいが）良いのではないか。 <input type="radio"/> 校内の環境美化が徹底しているので、年々中学校が良くなっている。生徒会を中心に継続してほしい。 <input type="radio"/> 美化に努めることで、心も美しく、落ち着いた状態になるので今後も継続してほしい。
いじめ防止・人権教育・道徳教育の充実のための取組	<input type="radio"/> 学びの場の確保 <input type="radio"/> いじめアンケート、教育相談の実施 <input type="radio"/> 山之口地区小中学校の連携	<input type="radio"/> 旧パソコン室を「オアシス教室」として、教室に入りやすい生徒の居場所を設置した。利用生徒は、自分のペースで学習を行った。 <input type="radio"/> 毎学期1回の教育相談と毎月1回のいじめアンケートを実施した。相談内容を全職員で共有した。また、スクールカウンセラーと情報を共有し、生徒のサポートに役立てることができた。 <input type="radio"/> 山之口地区小中学校間で児童生徒の情報交換や対応協議を行った。特に兄弟姉妹関係で不登校傾向にある生徒について、家庭状況などの共有ができた。	<input type="radio"/> オアシス教室での生徒の見守り等、地域の方々を活用するのも方法かと思う。 <input type="radio"/> オアシス教室の設置で、不登校や保健室登校が減少し、勉学の機会が増えるといい。 <input type="radio"/> 中学生になると不登校の子供も増えてくると聞いている。生徒とのコミュニケーションをしっかりとってほしい。 <input type="radio"/> いじめアンケートに正直に答えられたら素晴らしいと思う。今はSNSによる表面に出ないいじめがあるので気になる。 <input type="radio"/> いじめ問題は表面化しなくとも無くならない。なぜなら、毎年、卒業入学と生徒は入れ替わり、人間関係は変化し続けるからだ。何回も何回も根気よく毎年行ってほしい。 <input type="radio"/> 「いじめ」にも色々ある。言われた側が受け取れば、すべて「いじめ」となる。発言したり、行動に移したりする事をしっかりとと考えて行えるように、注意喚起をしてほしい。 <input type="radio"/> 人権意識は大人社会でも大事です。

【課題と改善策】

- 生徒会活動の一層の活性化や地域とのかかわりを充実させていきたい。特に地域と連携した体験活動を増やしていきたい。
- 生徒間のトラブルや生徒への指導について、保護者との連携が年々難しくなっている。
- 不登校生徒の対応について苦慮している。不登校生徒の居場所の確保を行ったが、見守りをすることが困難である。
- 生徒数減少や社会の変化に伴い、部活動の運営が難しくなってきている。地域移行が進んでいない。今後も生徒数が減少していくので、継続して検討していく必要がある。

令和6年度 都城市立山之口中学校 学校運営協議会委員評価報告書

③ 健康安全と体力の向上

重点努力事項	具体的な取組	学校の自己評価結果コメント	学校運営協議会委員の評価コメント
健康・安全教育の充実を図るための取組	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 安全点検を定期的に実施した。 <input type="checkbox"/> 外部人材を活用した性教育を実施した。 <input type="checkbox"/> 感染症対策について、市内の感染者の状況を見て対応ができた。 <input type="checkbox"/> 参観日に外部人材を活用した学校保健委員会を実施した。 <input type="checkbox"/> 新体力テストの結果を受け、改善点を明確にし、それについて取り組んだ <input type="checkbox"/> 全ての部活動において、担当職員の熱心な指導のもと円滑に運営できた。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 2ヶ月に1回、職員による点検を行った。可能な箇所は職員で修繕した。修理が必要な箇所は事務より教育総務課や業者へ依頼し、迅速に対応できた。 <input type="checkbox"/> 全学年を対象に、外部人材（産婦人科医による出前講座）を活用して「子宮頸がんを予防しよう」という題材で講話を実施した。 <input type="checkbox"/> 朝の欠席連絡にSigfy（保護者・学校メール）を活用した。学級や集会で感染対策について呼びかけ、生徒の意識の向上を図った。 <input type="checkbox"/> 1学年とその保護者を対象に、外部人材（ハロー市役所元気講座）を活用してメディア使用についての講話を実施した。同時間帯に2年生は修学旅行説明会、3年生は進路指導説明会を実施していたため、保護者の参加率が低かった。 <input type="checkbox"/> 昼休みに毎日ボールを貸し出したことで、運動場で遊ぶ生徒が多かった。体育の時間にも補強運動を行い、体力向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 実際にいろいろな症例を見ている方の話を聞くことは、生徒にとって他人事ではないと感じる良い機会になっていると思う。 <input type="checkbox"/> 生徒が安全に学校生活を送れるように、安全点検を引き続き徹底してほしい。 <input type="checkbox"/> 子宮頸がんの予防接種ができる年齢なので、接種について考える機会になったと思う <input type="checkbox"/> メディアを利用することで生徒間での新しい情報のやり取りが盛んであると思うのでルール等の講話を聞くのは大切だと思う。繰り返し指導してほしい。 <input type="checkbox"/> 昼休みの外遊びは体力だけでなく精神的にも良い影響を及ぼすことを期待する。 <input type="checkbox"/> 生徒たちの笑顔、友達の姿が目に浮かぶ。 <input type="checkbox"/> 教師の負担軽減を行うために、部活動の外部指導者の推奨を行うべきだ。
危機管理意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 避難訓練を実施した。 <input type="checkbox"/> 外部人材を活用した薬物乱用防止教室を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 火災についての避難訓練、地震についてのシェイクアウト訓練を実施し、生徒の防災意識を高めることができた。 <input type="checkbox"/> 全学年を対象に、外部人材（都城ライオンズクラブ）を活用して薬物乱用防止教室を実施した。薬物の危険性や心身への影響等について学ばせることによって危機意識を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 避難の仕方も時代とともに変化していくので、繰り返し訓練を続けることが大事だ。 <input type="checkbox"/> 都城市においても、地震が多く発生するようになっているので、学校のみならず、家庭や日頃の生活の中での防災知識も合せて学習してほしい。 <input type="checkbox"/> 最近、地震が身近に起きているので、継続して意識付けをしてほしい。 <input type="checkbox"/> 南海トラフ巨大地震が予測されている。災害時の対応シミュレーションなどを訓練に取り入れてはどうか。 <input type="checkbox"/> 訓練をとおして、災害に備える一人一人の意識を高めてほしい。 <input type="checkbox"/> 防災・危機意識を高めることは、自分の身を守ることでもある。 <input type="checkbox"/> 薬物使用が低年齢化しているので、指導を続けてほしい。 <input type="checkbox"/> 薬物乱用防止教育は、子ども達にとってとても大切なことと思う。
食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 夏季休業中に弁当の日を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 家庭科の課題として、1・2年生は夏季休業中に自分のための弁当作りにチャレンジし、レポートにまとめた。3学期の送別遠足の日は、全校生徒を対象に実施する予定である。ステップを6段階に分け、無理なく弁当づくりができるよう家庭に依頼し、保護者や食材への感謝の心を育ませたい。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 食育を全学年で取り組む発想に感心した。 <input type="checkbox"/> 弁当を作ることで食の大切さに気付き、保護者への感謝も生まれると思う。特別な弁当でなくても、おにぎり弁当の日を設けてはどうか。 <input type="checkbox"/> 当たり前のことできない現在、親子できる共同作業として弁当の日の取組を続けてほしい。 <input type="checkbox"/> 家庭科の教育の中で郷土食についても取り扱ってほしい。

【課題と改善策】

- 性教育については、全校生徒を対象とするものではなく、各学年の発達段階に応じた内容で学年ごとに来年度は実施したい。
- 職員を対象とした救急処置の研修（AED講習）を来年度は実施したい。また、危機管理マニュアルをもとに職員の研修の充実を図り、いざというときに生徒が安全に行動できるようにしていきたい。
- 体力テストの結果より
 - 特に改善が必要とされる種目は、20mシャトルランである。
 - 改善点への取組としては、体育の時間に今後も補強トレーニングを行うことや部活動とも連携して持久力に繋がるトレーニングを実践していきたい。
- 日々の運動の習慣化に向け、各個人にあった運動への取り組みを実施させる必要がある。
- 危機管理意識の高揚については、危機管理マニュアルを確認しながら、職員の動きの研修と確認を行う必要がある。
- 避難訓練時の避難経路が幹線道路沿いであることを変更すべきかが課題である。
- SDGsの3「すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」を関連させて保健・安全指導を充実させていきたい。

令和6年度 都城市立山之口中学校 学校運営協議会委員評価報告書

④ 家庭地域との連携

重点努力事項	具体的な取組	学校の自己評価結果コメント	学校運営協議会委員の評価コメント
学校からの積極的な情報発信を充実させる取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業参観を年間3回実施した。2学年は独自にフリー参観を3学期に実施する。 ○ 学校だより・学年通信・学級通信を定期的に発行した。 ○ 学校教育活動の様子をホームページで発信した。 ○ 月別計画表など、学校運営に関することは、シグフィー（学校保護者間連絡ツール）で保護者へ知らせた。 ○ 学校行事を学校運営協議会委員と民生児童委員・主任児童委員の方々に来賓として参観していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業や学校の行事など、学校の様子を保護者に参観していただくことができた。3学期に実施するフリー参観への参加を呼び掛けていく。 ○ 学年通信や学級通信で、各担当職員から保護者へ定期的に学校の情報を発信できた。学校だよりはホームページで発信した。 ○ 学校ホームページで、幅広い方々を対象に学校の情報を発信できた。 ○ 個人情報の取扱いに注意している。 ○ シグフィーを活用し、保護者へ月の計画表を定期的に発信した。また、大雨時の対応や行事実施等に関する連絡をタイミングよく発信できた。 ○ 学校の様子を地域の方に見ていただくことで、学校への理解が深まり、諸活動への協力を得やすくなつた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 何回か授業風景を参観したが、生徒が眞面目に取り組んでいるという印象を受けた。 ○ ホームページを更新するのは大変だろうが、学校の状況が常にわかるので、情報発信をお願いしたい。 ○ ホームページの内容が充実しており、学校の様子がよくわかる。 ○ これからも学校のホームページを利用したい。いっそう充実させてほしい。 ○ 学校だよりを地域や高齢者の方も見られるように紙で地域に回してほしい。 ○ 山之口中学校への思いは地域の方々も持っているので、交流（コミュニティ）的な企画は喜ばれたと思う。
地域行事への積極的な参加と交流に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の行事への参加を呼びかけた。 ○ 花配り活動と年賀状作成で高齢者の方々と交流した。 ○ 小中学生が、まちづくり協議会と山之口の活性化や将来について考える「弥五郎塾（未来創造塾）」に生徒会役員が参加し、意見交換を行つた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「弥五郎どん祭り」の「浦安の舞」に3名の女子生徒が参加した。「どんどん祭り」で吹奏楽部が演奏を披露した。 ○ 休日の行事への参加は、部活動との調整が難しかつた。 ○ 民生児童委員の方たちに協力していただき、花配り活動と年賀状作成で地域の高齢者の方たちと交流することができた。 ○ 地域の方と一緒に山之口の特徴を話し合い、地域を活性化させるための対策を考えることで、地域理解を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の行事に積極的に参加して、地域との交流ができている。 ○ 弥五郎どん祭りで中学生に協力してもらって感謝している。 ○ 町内の生徒数の減少により、小中学生の連携を強くし、町内の行事に小中学校の垣根をこえてすることは良い事だ。 ○ 地域への行事参加は大変だと思うが、楽しみにされている方がいるので、引き続き交流をお願いしたい。 ○ これからも学校と地域が協働していろいろな行事に参加してもらいたい。 ○ 花配り活動と年賀状は高齢者の方が感動していた。 ○ 子ども達が、自分の現状と地域の現状を理解し、未来への希望をもってほしい。 ○ 教師も生徒たちも忙しそうだ。 ○ 年度当初に各地区の代表者と行事等の情報共有・調整をしてはどうか。
地域人材の活用に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア教育集会を対話形式「ひなた場」で実施した。 ○ 2年生の職場体験学習で、商工会に事業所を紹介していただき、地域内で体験活動を行うことができた。 ○ 2年生のキャリア教育で、地域の企業の方に「働くこと」について講話をしていただいた。 ○ 3年生のボランティア活動で、子育て支援センターやまちづくり協議会の企画に参加させていただいた。 ○ 3年生の総合的な学習の時間「地域に貢献する」でまちづくり協議会にアドバイスをしていただいた。 ○ 薬物乱用防止教室、性教育(各学年1回)で消防署や警察署、助産師や看護協会の方に講話をしていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 24名の地域の方に講師となっていただき、対話形式キャリア教育集会「ひなた場」を実施した。1人対1人の講師との対話により、生徒はこれまでの自分を振り返り、これから生き方を考えることができた。 ○ 学校の教育活動において、地域の方に協力していただき、活動を充実させることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひなた場」は初めての取組ではあったが、対話型となり、生徒の想いを聞く良い場となつた。少しずつ改善していきながら、続けることが大切と思う。 ○ 「ひなた場」で話をしたことで、生徒たちが将来を考える一助になれたしたら嬉しい。また、自分も人生グラフを描いたことで人生の再発見ができた。 ○ 「ひなた場」で、講師と生徒が互いに自分の人生について意見交換ができたようだ。 ○ 「ひなた場」は、講師のことっても自分を見つめる機会となつたようだ。 ○ 「ひなた場」の講師がかなり良い感想を持っていた。また参加したいと言っていた。 ○ 「ひなた場」は初めての取組だったが、良い集会だと思った。次回も参加したい。 ○ 「ひなた場」の生徒の感想が新聞に掲載されて、対話形式の集会も良かった。 ○ 今年から始まった「ひなた場」はとても素晴らしい。協議会員、地域の方、PTAも参加してもらい、素晴らしい行事だと感じた。 ○ 色々なボランティアに参加してもらってありがたい。 ○ 文化発表会で職場体験学習の様子を楽しく見せてもらった。仕事を実際に体験することで自分の将来を考える良い機会になると思う。

【課題と改善策】

- より多くの保護者に授業を参観していただけるように、フリー参観等の工夫をしていく。
- 学校ホームページを定期的に更新し、幅広い方々を対象に情報を発信していく。
- 来年度もキャリア教育集会を対話形式で実施する。そこで、講師の人選を進め、早めの講師確保に努める。
- 地域の伝統文化の継承、地域行事・ボランティア活動への積極的な参加と交流をさらに図っていく。